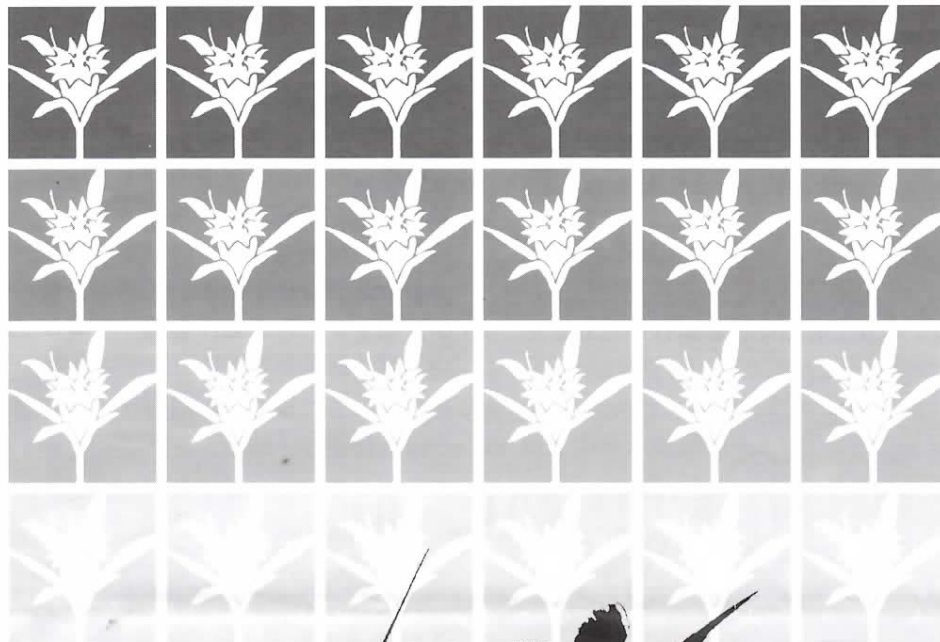




同窓会報

第 12 号

平成20年度総会・懇親会のお知らせ

日時 5月24日(土) 受付 午後2時00分～
総会 午後2時30分～3時
懇親会 午後3時～5時
場所 三井ガーデンホテル (千葉パルコ前)
☎: 043-224-1131

会費 7,000円

懇親会だけの出席也大歓迎です。恩師の先生方にも多数ご出席いただいております。

卒業生はどなたでも出席できますので、お誘い合わせの上ご来場下さい。

お問合せ・お申込みは、5月15日までに同窓会事務局へ。(☎: 043-251-9221)

「シャロンの花」は校歌の歌い出しです。
昭和26年、創立10周年記念に制定されました。当時教頭でいらした沢田繁二先生作詞のこの校歌は、他校にはない美しい響きを持つ詩で綴られています。同窓会報を創刊するにあたり、懐かしい言葉「シャロンの花」をタイトルにいたしました。

シャロンは、イスラエル西部の地名です。その地に咲く白い可憐なシャロンの花は、旧約聖書で「純潔」の象徴とされています。

平成20年 3月 7日発行

(表紙タイトル・イラストデザイン 昭和35年卒 北川広志)

発行者 千葉県立千葉東高等学校
同窓会会長 井戸川 浩

編集部 千葉県立千葉東高等学校同窓会事務局内
〒263-0021 千葉市稲毛区轟町1-18-52
TEL 043-251-9221 FAX 043-255-6575

印刷所 (株)宮坂印刷 TEL 043-251-4537 FAX 043-251-4535



同窓会報「シャロンの花」 第12号発刊ご挨拶

千葉県立千葉東高等学校同窓会
会長 井戸川 浩

恩師の先生方はじめ同窓生の皆様、お元気でお過ごしでしょうか？

同窓会報「シャロンの花」第12号をお届けいたします。

また、本年新たに卒業された皆さん、ご卒業誠にありがとうございます。同時に同窓会会員としてのご入会を心から歓迎いたします。

同窓会は、卒業生の皆さんからの寄付で運営しております。

~~~~~



## ご 挨 拶

同窓会名誉会長  
校長 五十嵐 和廣

同窓会会員の皆様方におかれましては、日頃より母校の教育活動に多大なご理解をいただきますとともに、物心両面にわたって大きなご支援を賜り誠にありがとうございます。お陰様で、この1年間本校も順調に各種の教育活動を展開し、目標に向かって前進することができました。厚くお礼を申し上げます。

さて、折角の機会でありますので、母校の近況等についてご報告させていただきます。

本校は、平成15年度に県教育委員会から「進学指導重点校」の指定を受けたことをきっかけの一つとして、その向かうべき方向性を学校の内外に一層明確に示すこととなりました。進学指導重点校は、現在7校が指定されておりますが、千葉市内では、本校1校のみであります。以来、その指定の趣旨を効果的に生かすべく県教委、保

同窓会報「シャロンの花」が脆弱な財政基盤の中で10年を超える永きに亘って発行できたのも、母校愛溢れる同窓生の皆様からの継続的な寄付のお陰と心から感謝申し上げます。

母校と同窓生、同窓生同士を結ぶ“シャロンの花”の発行には、印刷費用よりもお一人お一人にお届けする送料の負担が最も大きく響いています。

どうか、今後も同窓会活動への温かいご支援をお願いいたしますとともに、会報「シャロンの花」を通じて伝統と歴史ある母校を守り立てる同窓生、元気で活躍する在校生、それを支え、指導する献身的で優秀な先生方のご尽力により、母校がますます輝かしい歴史を刻みつつあることをこの会報でご確認下さい。

護者等関係の皆様方の絶大なご協力のもとで様々な体制を整えて参りました。その一つが、今年度からスタートした二学期制でありますし、更にこの二学期制の効果を一層発揮させるための保護者支援による空調整備であります。これにより夏季休業に入る直前まで通常授業が可能となり、年間の授業日数を増加させることができました。また、来年度（今年4月）入学者からは、いよいよ単位制が開始され、この単位制での入学者から、週35時間つまり毎日7時間授業となります。一見進学指導一辺倒の詰め込み主義の様に思われるかも知れませんが、週当たりの授業時数の増加により、生徒が履修することのできる教科・科目の幅が大きく広がり、「教養の復興」実現にも近づくことができますし、また、45分授業の採用により、「文武両道」の精神を維持することができればと考えております。

「学藝を以て性を養うへし」、千葉東高校はこれからも教職員一同力を合わせて、より人間性豊かで骨太な生徒の育成を目指してまいります。

どうぞ、今後とも母校隆盛のために、よろしくご支援お願い申し上げます。

西千葉 県立千葉東高校前入る

はり・きゅう・あんまマッサージ・指圧

**湯浅治療院**

日・祝日も診療  
出張は夜12時まで  
＝定休日 金曜日＝

☎ (043)251-8425 (治療室)  
252-2009 (自宅)

〒260-0044 千葉市中央区松波4-13-6



**千葉セラミック工業株式会社**

代表取締役社長 森 信一  
(昭和29年卒)

〒263-0031 千葉市稲毛区稲毛東2-10-14  
TEL. 043-243-7321 FAX. 043-247-7451

# 平成19年度 千葉県立千葉東高等学校同窓会総会報告

平成19年5月26日(土)三井ガーデンホテルにて、100余名という近來にない多数の来賓・会員が参集して総会が開催されました。

高橋副会長の司会進行によって総会が始まり、井戸川会長から総会出席のお礼と会報発行、母校教育活動支援等の同窓会事業へのご協力に対する謝辞、母校生徒を将来のリーダーとして育成するために母校とともに同窓会も総会でご承認いただいた事業計画に沿って支援をしていきたい旨挨拶があり、続いて五十嵐名誉会長(学校長)から「母校生徒の進学状況の報告と、51年間続いた通信制の大宮高校への移管完了、並びに母校教育活動に対する同窓会からの多方面にわたる支援に対する謝辞」を頂きました。

続いてご来賓の須田義男先生(元校長)から、「何箇所かの高校を歴任したが東高が現役としての最後の楽しい勤務だったためか、東高のことが頭から離れない。今日も2時間前に来てしまった。生徒、先生、卒業生みんなの活躍が同窓会の発展につながる。今日は楽しく氣勢を上げたい」旨、元気あふれるご挨拶を頂きました。

続いて、小塚常任幹事を議長に選出し、すべての報告・審議事項が提案通り

承認され、総会は滞りなく終了しました。

引き続き懇親会に入り、井戸川会長から「(懇親会)はクラス交流、同期交流、クラブ等の異学年交流等の場。ビジネスや趣味など思わぬところに思わぬ方がいたりして、新たな絆が生まれる場でもある。東高という根が同じ仲間、同期、先輩、後輩の出会い・絆を生かして欲しい。今年度懇親会は、“年々還暦を迎える年次の方々に懇親会の運営をお願いしていく”というルールに則って第18回生(昭和41年卒)の同期の皆さんに運営をお願いした。」旨の紹介があり、アトラクションに入りました。アトラクションは幹事の木村先生(昭和41年卒 現佐倉東高校校長)の教え子であるプロのアーティスト加藤洋一さんによるピアノ演奏と歌をご披露いただきました。

最後に、参会者全員で恒例になっている母校の校歌を歌い、来年の再会を約して散会となりました。



## 貸ビル業

J R 蘇我駅西口前

**新月**

千葉市中央区今井2-4-7

☎ 043-261-2850

大森啓護(昭和31年卒・野球部)

人間生命の運動法則を研究する科学

## 千葉人間科学協会

理事長 小塚興作(高校第11回卒)

千葉市若葉区桜木町330-50

☎ 043-231-9215

### 平成18年度千葉東高等学校 同窓会決算書

総収入 ¥3,431,138  
総支出 ¥4,305,102  
残 額 ¥ 873,964 ▲…次年度へ繰越

#### 収入の部

(単位:円)

| 項 目            | 収入済額      |
|----------------|-----------|
| 1. 会 費         | 969,000   |
| 2. 入 会 金       | 161,500   |
| 3. 前 年 度 繰 越 金 | 609,042   |
| 4. 同窓会活動維持基金   | 1,640,000 |
| 5. 雑 収 入       | 674,653   |
| 計              | 3,438,138 |

#### 支出の部

(単位:円)

| 項 目          | 収入済額      |
|--------------|-----------|
| 1. 運 営 費     | 1,166,458 |
| (1) 会 議 費    | 69,460    |
| (2) 総 会 費    | 487,689   |
| (3) 通 信 費    | 214,495   |
| (4) 慶 弔 費    | 333,334   |
| (5) 旅 費      | 0         |
| (6) 雑 費      | 61,480    |
| 2. 事 業 費     | 3,138,644 |
| (1) 同窓会報発行費  | 2,830,144 |
| (2) 母校部活動支援費 | 208,500   |
| (3) 海外派遣支援費  | 100,000   |
| 計            | 4,305,102 |

### 基金繰入金会計

平成19年3月末現在 ¥9,835,269

(単位:円)

| 項 目    | 収 入       | 支 出 |
|--------|-----------|-----|
| 前年度繰越金 | 9,832,907 | 0   |
| 利 息    | 2,362     |     |
| 計      | 9,835,269 | 0   |

### 創立70周年記念事業基金

平成19年3月末現在 ¥5,534,458

(単位:円)

| 項 目    | 収 入       | 支 出 |
|--------|-----------|-----|
| 前年度繰越金 | 4,714,157 | 0   |
| 祝儀・利息等 | 1,301     | 0   |
| 今年度入金分 | 819,000   | 0   |
| 計      | 5,534,458 | 0   |

### 会計監査報告

平成18年度同窓会会計の出納簿、証拠書類及び預金通帳等を詳細に検査した結果、処理が正確であり支出も適正であることを認めたので、ここに報告致します。

平成19年5月10日

千葉県立千葉東高等学校同窓会  
会計監査 石井 洋子 印  
澤田 繁信 印

### 平成19年度千葉東高等学校 同窓会費予算書

#### 収入の部

(単位:円)

| 項 目          | 収入済額      |
|--------------|-----------|
| 1. 繰 越 金     | △873,964  |
| 2. 会 費       | 972,000   |
| 3. 入 会 金     | 162,000   |
| 4. 同窓会活動維持基金 | 2,600,000 |
| 5. 総 会 会 費   | 800,000   |
| 6. 広 告 代     | 150,000   |
| 7. 雑 収 入     | 200,000   |
| 計            | 4,010,036 |

#### 支出の部

(単位:円)

| 項 目          | 収入済額      |
|--------------|-----------|
| 1. 運 営 費     | 1,310,000 |
| (1) 会 議 費    | 100,000   |
| (2) 総 会 費    | 500,000   |
| (3) 通 信 費    | 250,000   |
| (4) 慶 弔 費    | 350,000   |
| (5) 旅 費      | 10,000    |
| (6) 雑 費      | 100,000   |
| 2. 事 業 費     | 2,700,000 |
| (1) 同窓会報発行費  | 2,350,000 |
| (2) 母校部活動支援費 | 250,000   |
| (3) 海外派遣支援費  | 100,000   |
| 3. 予 備 費     | 36        |
| 計            | 4,010,036 |

## 平成18年度事業計画実施状況

- 総 会 平成18年5月27日(土)  
ポートプラザホテル千葉にて  
80余名が参集して実施
- 母校教育活動の後援、学校行事参加活動
  - 部活動(全国大会出場)支援  
山岳部 全国総体出場(男子2位、女子2位)
  - 海外留学引率者支援  
H19.2.24から3.14までの19日間、国際交流プログラム米  
国派遣団としてミシガン州クラークストン高校へ派遣
  - 対外試合・発表会等支援  
音楽部 第31回全国高等学校総合文化祭に実績を買われ、  
文科省から出演要請
  - 卒業式・入学式・体育祭・文化祭等行事参列・参観等  
H18.4.7 入学式参列  
H18.9.9 東雲祭参観  
H18.11.13 東雲ネット“さわやかミニトーク”参加  
H19.3.8 卒業式参列
- 同窓会会報「シャロンの花第11号」発行  
H19.3.8 “シャロンの花”第11号 20,000部発行
- 役員会(主要決定事項)  
平成18年6月4日(日)  
三井ガーデンホテルで総会の反省会  
平成18年9月3日(日)  
書道部:三年生 千葉藍さんが高松宮災害基金協賛銀河  
書道展(現代書道研主催)小中高生約1500人中で第1  
席となり文部科学大臣賞を受賞した。“シャロンの花”  
に掲載  
寄付を頂いた同窓生・関係者様に対する礼状書き。  
平成18年11月12日(日)  
同窓会報“シャロンの花”第11号記事内容、広告集め  
等分担決定  
総会会場三井ガーデンホテル仮押さえ報告  
平成18年12月17日(日)  
第31回全国高等学校総合文化祭に音楽部の出演指名を  
受け、大変名誉なことであることから支援承認。

来年度総会後の懇親会運営を昭和40年卒同期会で行う  
旨、意思表示あり承認。

平成19年1月21日(日)

学校側から屋外行事用テント一張り老朽化のため寄贈  
の依頼あり。審議の結果、OBの業者から格安で購入す  
ることを条件に応諾決定。

同窓会の運営改革を模索すべく、時間は掛るが試案作  
りに着手することを決定。

同窓会報「シャロンの花」作業進捗状況報告。

平成19年2月25日(日)

同窓会の運営改革について各自の提案報告。

平成19年3月18日(日)

同窓会報「シャロンの花」3月8日に予定通り発行。

卒業生にも配布された旨報告。

総会の運営概要について報告

平成19年4月22日(日)

総会後の懇親会運営に関する昭和40年卒幹事団からの  
詳細報告承認。

## 平成19年度事業計画

- 総 会 平成19年5月26日(土)  
三井ガーデンホテル千葉
- 同窓会会報「シャロンの花」第12号発行
- 同窓生・恩師対外発表会等参観支援・顕彰活動
- 同窓会維持基金、創立100周年祈念70周年記念事業基金等  
募金活動
- 母校教育活動の後援、学校行事参加活動
  - 進路学習支援(先輩による実業界報告と懇談、事業所訪問)
  - 部活動(全国大会出場等)支援
  - 海外留学引率者支援
  - 対外発表会等参観・支援
  - 卒業式・入学式・体育祭・東雲祭等行事参列・参観等
- 支部発足支援活動
- 役員会 原則隔月第二日曜日(8月・1月休会)

# 卒業生バンザイ

飛躍元年



吉橋 重夫 氏  
《昭和34年卒》

定年(公務員)から華麗な転身  
第二の人生はプロの演歌歌手



昭和34年母校卒業、中央大学法科卒業後千葉市役所へ。平成15年稲毛区長を最後に退職。四街道市役所収入役に就任。平成19年3月退任。

この間、県下はもとより全国でカラオケ歌謡大賞に輝くこと数え切れず。“細川たかし”ばりの美声は多くのファンを獲得した。平成19年12月67歳にしてプロ歌手“槇しげお”デビュー。今日(1月31日)はそんな吉橋さんのご自宅にお邪魔し、華麗な転身を遂げた心境をお聞きした。

(聞き手：同窓会長 井戸川 浩)

井戸川：どうも。このたびはデビュー直後のお忙しいところお邪魔します。いつもは(同窓会総会後の)懇親会のアトラクションで美声をご披露いただくなど、多大なご協力をありがとうございます。また、この度はいよいよプロ歌手としてデビューを果たすことになり誠にめでとうございます。今日は、公務員を定年してからプロの演歌歌手への華麗な変身というか転身を果たした吉橋さんの今の心境やこれからの夢などお聞きしたくてやってまいりました。どうぞよろしくお願いいたします。

吉 橋：いやいや、わざわざおいでいただき恐縮です。

## 得意技で世の中の役に立つ

井戸川：はじめに、デビューにあたっての今の心境をお聞かせください。新しい世界へのチャレンジですから何か決意めいたものがあると思うのですが。

吉 橋：そうですね。永く公務員をしておりましたが、定年後の人生設計としては単に隠居してしまうのではなく“世の中とかかわりのあること、何か経済活動をしたい”という気持ちがありました。最初に考えたのは、千葉市役所で経験してきたコンピュータの知識を生かして、ITを使った貿易業務をしたいと思ったのです。しかし、販路を持たなかったためにあえなく挫折しました(笑)。次に考えたのは自分の得意技というか長年手がけてきた“歌”の道でした。これも“世の中とかかわりがある”“経済活動でもある”という人生設計の考え方に一致し、“失敗してもいいからやってみる”という自分の生き方にピッタリでした。

井戸川：そうですね。中々チャレンジングな転身ですね。前期高齢者(笑)がこういう心意気を示していただけると皆さん心強く思うでしょうね。そもそもプロの歌手になろうと思いだしたのはいつごろなのでしょう、そのきっかけとなったエポックメイキングな事件というかそういうことがありましたか。

## 先生の導きが大きい

吉 橋：千葉大付属小学校の時から音楽が好きでというより担任の先生が音楽の先生で、私の歌を、もちろん小学唱歌ですよ(笑)。とても褒めてくれました。音質はボーイソプラノですね。音楽の時間には模範歌唱のようなことをやらされました。高校でも1年の時は担任の先生が音楽の勅使河原先生でした。これも幸いしましたね。今では何か音楽というものに運命的なものを感じています。カラオケというものがまだ世の中に出ていない時代に大学を出て就職したんですが、酒の席などでは専ら手拍子で歌うんですね。それでだんだん歌うことも少なくなっていました。昭和46年(1971)頃にカラオケが出て復活です(笑)。その後は各地でカラオケ大会に出たり、優勝したりしてましたが、ある時、そう3年ほど前だと思いますが、何か所かのスナックでお客さんから同じように“今日はいい歌を聴かせてもらった。感動した”というようなご評価を頂くようになったんです。それで、もしかしたら人様に聴いていただけるような唄になっているのかなあと考えるようになって、それで……。

## シニアの星になって一隅を照らす

井戸川：そういう時、全国的に売れる歌手を目指すか、地域に根ざして一隅を照らす歌手を目指すかという選択によってやり方も大きく分かれると思いますが吉橋さんはどちらを目指したいと思いますか。

吉 橋：歌はどんな歌でも人に勇気を与えますよね、歌詞に込めた作詞家の思い、それを楽曲にした作曲家の思い、そしてそれを唄で表現する歌手の思い。そうしたものの総合的なものが唄となって聴く人に訴えかけます。聴いた人は、ある時は落ち込んだ自分を奮い立たせ、もっと頑張ろうと立ち直るとか、ある時はつらい思いをしている時に慰めになるとか、あるいはどん底にいても何とか生き抜いて行こうと立ち上がるとか、そういう効果があります。最近、高齢社会といわれますが、神社やお寺の行事とか各地のお祭りのイベントとか、どんな土地に行っても80歳くらいの方々がとてもお元気でシャンとして良い声で唄っているんです。それを見まして、ああ、自分はその人たちの年齢になるまでにはまだまだ時間がある。ああいういわばニッチというか千葉県を中心に関東地域限定のローカルな歌手でもいいから、シニアの方々に勇気づけるような、唄いやすい楽しい歌と一緒に唄って元気づけたい、そういう歌の場づくりの役に立ちたいと思ったんです。

井戸川：関東地域というと東京も入りますから決してニッチではないですよ。笑) そうすると主な活動の舞台は老人ホームとか。

吉 橋：いえ、それもありますが、これまでもそうでしたが、神社だとかお祭りだとか、道の駅のようなところでのイベントだとか、クリーニング屋さんとか印刷屋さんとかの業界のイベントのような時とか、どんなところでも可能だと思います。先日は某老人クラブ連合会から“公務員から演歌歌手へ”という講演まで頼まれました。(笑い)

## デビュー曲への熱い思い

井戸川：デビュー曲についてお聞かせください。

吉 橋：A面は“海女の手”です。これは千葉県の大湊で海女の方々が高齢化してだんだん人数が少なくなっていくんですね。こういうものは絶滅させてはいけないと思うんです。で、県民の方々はもとより多くの方々に「知って欲しい、忘れないで欲しい」という思いを込めて作りました。おかげさまで千葉県観光協会さんや南房総市観光協会さんの推薦をいただきました。踊りの関係者の方数人が「振り付け」を申し出てくれるなど滑り出しは順調です。B面は、“夢あかり”といいます。これは美空ひばりさんにも詩を提供したという著名な作詞家の志村暎子さんが四街道市の「わろうべの里」という文化施設の館長さんをしておられ、デビューにあたって提供していただいたものです。作曲はどちらも私の先生である山本としのお先生です。井戸川：“海女の手”を「作りました」とおっしゃいましたが、作詞の辰巳喜重さんとはどういう方ですか。

## 高校時代の素養が生きた作詞

吉 橋：あ、それは私です。作詞するときのペンネームです。

井戸川：えっ!? そういうことですか。いや作詞もされるとはすばらしいですね。そういう素養はどういうところで身につけられたんですか。カルチャースクールとかですか。

吉 橋：いえ、高校時代に佐々木鐵太郎先生という漢文の先生がおられましたね。

井戸川：おられました。すぐ殴るという野球部の監督もされていた怖い先生でしたね。実はとっても情熱家で温かい先生でしたが。

吉 橋：実は私、漢文の成績がとても良くてずいぶん可愛がられました。そういうことからか五言律詩とか七言絶句といった漢詩についてもずいぶん勉強しました。そういうのが気持の中にあっただけでしょうか。リズムカルな詩の言葉が自然に浮かんでくるんですね。この歌も朝寝床の中でふっと浮かんできたとか、どこか歩いているときにずっと出てきたとか、そういうことなんです。

## 楨は千葉県の県木

井戸川：いやいや、それは大変うらやましい素養・素質ですね。芸名の由来というか芸名に込めた吉橋さんの思いはなんですか。

吉 橋：山本先生のご意見は「本名のままでいいよ」

ということでしたが、千葉県を中心にするということから県木である“楨”を使い、名前はそのまま仮名で表記したらどうかと思い“楨しげお”にしました。インターネットで姓名判断をしたらよい名前だという結果も出ましたので。(笑い)

井戸川：ハハハ、さすがITの専門家ですね。ところで練習はどうやるんですか。ご自宅にスタジオがあるとかな防音室をお持ちとか。

## プロの厳しさ

吉 橋：いえいえ、そんなものはありません(笑い)。声も喉を痛めますのでそう大きく出しません。アマチュアの方と違いプロとなると楽譜がすべてです。オリジナルカラオケの場合はリズムだけでメロディーはありませんから(つまりメロディーは自分の声です)音符の示す高さや長さの通りに(声が)出せるかとか、歌詞をしっかりと覚えているかとか、自宅ではそうすることが中心です。あとは週2回程度先生のところで発声練習や通し練習をします。アマチュア時代には許されたミスがプロでは許されませんから、結構厳しいし、緊張もします。

井戸川：よく呼吸法とか、腹筋の強化とかありますね、具体的には何をどのようにしていますか

吉 橋：そうですね。声量維持のためには肺活量を大きくしなければいけませんから深呼吸など呼吸筋や腹筋を鍛えることは必須です。

## 歌で人生楽しく

井戸川：これからの夢というか抱負、そして母校同窓会員の皆さんへ何か。

吉 橋：まずは皆さんに、私のことをよく知っていただきたいですね。何かイベントなどがある時はぜひ一声かけてほしいです。それに、先ほども申し上げましたが誰でも唄える唄いやすく楽しい歌をみんなで唄いたいですね。そしてそれがそれぞれの方の明日への力になればと思います。同時に、定年になって“退職鬱”とか、“退任鬱”とかになって苦しめる方もおられますが、私は、何か一つでもよいから社会とかかわることをおやりになることをお勧めいたします。それが、こころとからだの健康につながると思いますので。

井戸川：最後に、今回のデビューにこぎつけるまでには奥さんの内助の功というか、いろいろご協力があったと思いますが。

吉 橋：そうですね。切符とか会場の手配だとか裏方はみな家内に押し付けてしまっていますが、楽しみながらやらしてもらえればと思います。実際は苦しいことのほうが多いと思いますが(笑い)。

井戸川：今朝の千葉日報にも出ていましたが、今日は1月31日、アイサイの日というんだそうです。“夢あかり”には「心は一つとお前に甘え 苦勞幾つもかけてきた…」というくだりがありますが、お二人で仲良くますますのご活躍を祈ります。

吉 橋：ありがとうございます。

(完)

(文責：編集部)

## 東雲ネット・さわやかミニトーク

～学校・地域・家庭を結ぶ輪(和)～

6年目となった「東雲ネット・さわやかミニトーク」が、10月15日(月)に、本校セミナーハウスで開催されました。松波商工振興会や轟町1丁目、4丁目自治会など近隣の皆さん、同窓会役員、PTA役員の皆さん、合わせて12名の方が参加してくださり、5限目の授業を参観した後に、本校職員と懇談会を持ちました。

このミニ集いのねらいは、地域の方々に本校の授業の一端を見て頂くとともに、教職員と身近な教育問題について本音のご意見を頂き、学校・地域・家庭を結ぶ輪(和)を広げようということにあります。

本校の日常の活動、取り組み、生徒の様子などについて担当教員から説明をさせていただいた後、忌憚のない意見を交換していただきました。

この中で轟1丁目からご要望が出された防災対策について、その後に防災委員会の皆さんと協議し、轟1丁目



の皆さんが3月9日(日)に本校を避難場所とする防災訓練を行うことになりました。初めての試みですが、地域の方と本校が身近になる機会になっていただければよいと考えています。

私たち教職員にとっては、日頃の教育活動について別の視点から評価を頂いた一時でした。ご多忙の中参加して頂きました方々、有り難うございました。

(教頭 高橋 清英 S50卒)

## 今回から 東雲祭参観記 日程が少し早まったよ 東雲祭

第44回の東雲祭が例年より1週間ほど早く、平成19年9月1日(土)・2日(日)の両日にわたって開催されました。これは本年から2学期制に変わったための変更とのこと。

私たちは2日目の日曜日に参観してまいりましたのでご報告いたします。

校門を入ると同窓会が寄贈した新しいテントの中で受け付けが行われており、今年はどうなお祭りが開かれているのか楽しみと期待で胸が膨らんできました。

ことしのテーマは「そのまま東」。あらかじめ校長先生から「今年は9月初めの実施のため、短期間での準備日程となりましたが、工夫と情熱で乗り切って本日の祭典に漕ぎつけた生徒会本部及び実行委員会、生徒の皆さんに拍手を贈っているところです」とのお話を承り、同道した小林、長谷川、石橋各副会長、書記の市原君とともに校内を参観させていただきました。

短期間の準備ということで、例年になく質素な感じを受けましたが、それは飾りつけなどに時間を割かず、そこは「そのまま東」にしておいて、内容で勝負をかけたことがうかがえました。

今年の参加団体は24クラス、12部活、3同好会と6つの有志グループ、それにPTA理事会からも参加して、合わせて46団体の参加となり、例年を上回る多数の参観者を得て活気にあふれていました。

時間の関係もあり、すべてを参観することはできませんでしたが、3年生の演劇は評判が高く、音楽部、吹奏楽部のミニコンサートの鑑賞や書道部、美術部、写真部等の展示を拝見し、楽しませていただいたのですが、中でも部員1名という地学部の「プラネタリウムと地学的な展示」はファンタジックでとても楽しいものでした。

全体として、短期間で良くまとめた東雲祭であったなと感じた次第です。

OB、OGも多数参観してくれ、生徒からは「先輩に来ていただくことは、本当にうれしいことです」という声も聞かれました。

次回も是非卒業生の皆様にも多数ご参観くださいますようご案内申し上げます。

(同窓会副会長 高橋 一郎 高第9回S32卒)



「贈 同窓会」の名前の入った新調のテントで受け付けが…

## 有限会社 宇留間鐵工所

代表取締役 宇留間 稔

(昭和48年卒)

〒260-0833 千葉市中央区稲荷町3-8-7

TEL. 043-265-2331

FAX. 043-265-2311



## 各地で同期会・支部会・地区会 活発に開催

同窓会報「シャロンの花」発行が機縁となって各地で同期会・部活動OB会、クラス会などの活動が盛んになってきました。今回も各地から編集部に寄せられたご寄稿をご紹介します。

### 第2回東雲会ゴルフコンペ

これまで、ゴルフの好きな同窓会関係者有志とPTA関係者や先生方などとの懇親ゴルフ会が卒業生の関係する山武グリーンカントリークラブで不定期かつ小規模に実施されておりました。

平成18年にはもっと輪を広げようということで元校長先生や在籍したことのある先生方など母校ゆかりの方々に声をかけ実施しました。

「千葉東高校」という共通の基盤の上に立った仲間同士ということで、大変盛り上がり楽しい会となりました。

参加者の中から“これを契機に母校ゆかりの方々にもっと広く声をかけて毎年恒例化しよう”という声が起こり、この集まりを第1回とし平成19年を第2回として“海の記念日”である7月16日(月)に晴天の中、山武グリーンカントリークラブで開催しました。



平成20年度も7月21日(月)海の記念日に開催します。皆様のご参加をお待ちしております。

(幹事 澤田繁信 S46卒)

お申し込みお問い合わせは

澤田(☎043-261-4528 ギャレックスチバ株式会社)まで。

(但し、お申し込みお問い合わせの受け付け時間は昼間のみですのでご協力ください)

### 旧制 高等女学校2回生・3回生懇親会

平成19年6月16日(土)恒例になっている千葉ワシントンホテル銀座にて題記懇親会が開催されました。

卒業後62年の時の流れにもかかわらず元気に14名が参加、お互いの1年間の無事を心の底から称え喜び合いつつ、家族にも勝るとも劣らない団欒の貴重なひと時を過ごすことができました。

なお、次回も恒例の6月第3土曜日(平成20年6月21日)に開催されます。

(高女第2回 S21年卒 小林美代子)

註：2回生3回生は、S17年に入学したが、途中で学制改革があったため卒業がS21卒S22卒と別れたため。



### サッカー部 創部40周年記念OB会

運動部としては後発にスタートしたサッカー部が今年で創部40年となったことを記念し、昨年8月20日に千葉市中央区のホテルミラマーレで、当時の顧問の青山克先生を迎え、OB約80名で祝賀会を行いました。

創立当初は同好会で、放課後にグラウンドの使用が認められなかったため、朝7時からの練習がメインで、放課後は専ら千葉公園でのマラソンとグラウンドの片隅でやる少人数のパスゲームといった練習でした。それで

も、昭和46年度関東大会の千葉県予選で準優勝し、優勝した習志野高校とともに関東大会に出場しました。その実績が学校で評価され、部への昇格を認めてもらったという歴史があります。

この頃は県内ベスト8を争う位置にいて、11期には市立船橋高校前監督の布敬一郎が、10期には現在の同校監督石渡靖之がいます。

これからも、文武両道で頑張る後輩をいろいろな面で応援していくつもりですので、よろしく願います。

OB会会長 秋山誠二(S48卒)

“シャロン31会”  
(千葉三高 昭和31年卒 高校第8回同期会)

平成19年11月18日(日)千葉市“ほてい家”にて恩師白銀彦太郎先生、井下田 博先生、千田恭一先生、菅宮和夫先生を囲み、同期生が、遠くは京都から、あるいは斉藤卓郎さんは車椅子での参加で57名が参集して盛大に開催された。

物故者36名に対する黙祷からはじめ、短い時間ながら当時のことや最近のこと、健康のことなどで盛り上がり、懇親を深めた。

最後に校歌を斉唱し、再び健康で会うことを誓いあって散会となったが、大半は三々五々二次会に流れて別れを惜しんだ。

(同期会幹事 大森 啓護)



見ても、現住所並びに物故者情報の捕捉率から見ても驚異的な数字であり、同期の皆さんの結束の強さ、母校や恩師への思慕の高さがこういう数字に表れたとも言えるだろう。

※編集部注：この年の同期の卒業生は329名であり、57名もの参加は出席率17%であるが、物故者36名を分母からはずすと、20%の出席率となる。これは年齢から

昭和34年卒（高校第11回）3E 井下田ルームクラス会

平成20年1月25日（金）千葉市“京成ホテルミラマーレ”にて、旧3年E組担任だった井下田 博先生を囲み



17名が集まりクラス会を開催しました。

それぞれ会社生活や子育てを終了し、作家五木寛之さんのいう“林住期”真っ最中ということになるが、これは人生100年を四つに分けたインドの考え方。人生80年ならその先の遊行期に入っているわけで、自己を確立して遊行する大人の集まりということになりますが、一瞬で18歳の高校生に戻り、久しぶりの邂逅に話がつきません。

物故者5名に黙祷を捧げ、これからも、命ある限り元気で会を重ねようと誓い合ったひとときでした。

### ＜幹事から一言＞

毎年1月に定期的に集まることにしましたが、急に風邪を引いたり、雪に見舞われたりすることも多く、10月か11月に時期を変えて継続していくことにしました。

(幹事 井戸川 浩)

# ペンリーショップ

## 四街道店

Tel/Fax. 043-421-2277  
 浸透印（認印、訂正印）15分～  
 （朱肉のいらないハンコ）

中村千枝子（昭和44年卒）

- ◆印鑑作成（実印、会社印） 2時間より
- ◆各種印刷 名刺 15分～  
葉書 30分～
- ◆靴修理、合いカギ作成、カバン修理
- ◆傘修理、刃とぎ、表札、ネーム彫刻

leoleoleoleoleoleoleoleoleoleoleoleoleoleoleoleole

各種看板製造致します。  
大型インクジェットで写真看板OK！！  
  
看板・工事用・安全・保安用品  
  
**レオ産業株式会社**

松浦隆一（S.42年卒）  
千葉市花見川区幕張本郷7-5-12  
TEL 043-275-1411  
FAX 043-275-1478  
ホームページ[http：//home.att.ne.jp/red leo](http://home.att.ne.jp/red_leo)

leoleoleoleoleoleoleoleoleoleoleoleoleoleoleoleole

## 昭和50年3月卒業生同期会

今年1月5日(土)にホテルグリーンタワー千葉で初めての同期会を開催しました。1～9組までの同期生約140人が卒業以来33年ぶりに集まりました。

学年主任の勝輝夫先生を始め、山泉彰先生、鈴木健生先生、羽生正允先生、鈴木正躬先生、中村宏治先生、山本守先生と、7名の恩師が出席してくださいました。席上、8組担任の亀 忠夫先生が昨年6月にご逝去された

ことが紹介され、ご冥福を祈りました。

51歳の教え子は、久しぶりで対面した担任の先生方にはどのように映ったことでしょうか。あっという間の2時間余でしたが、懐かしさに溢れた楽しい一時でした。同窓会総会幹事の役回りが巡ってくる9年後の再会を約し、各クラスとも、新年の繁華街に2次会へと繰り出しました。

(幹事代表 高橋 清英)



## お知らせ

### 昭和32年卒(高校第9回)同期会 “古希を祝う会”の開催について

卒業してから早いもので平成20年に、私どもは古希(70歳)の年齢になりますので“古希を祝う会”として開催できるよう、各クラスの幹事と準備に入りますので紙面を借りてあらかじめご案内をさせていただきます。

期日は平成20年6月7日(土)の午後に予定しております。

詳細が決定しましたらご案内状を差し上げたいと思いますのでご予約置きのうえ、元気な顔を見せてください。

当日先生をはじめ多くの同期の皆様方にお目にかかれますことを楽しみにしております。

(同期会 代表幹事 高橋 一郎)

## 編集部からお願い

■同期会、クラス会、部活OB会など、母校卒業者の集まりの予告、実施報告(写真歓迎)がありましたら、「会名」「時と場所」「参加人員」「幹事感想」「集合写真」など母校同窓会事務局までお知らせ下さい。(原稿・写真は原則としてお返しできませんのでご承知おきください)



**同窓会活動維持基金**

同窓会活動は、母校の状況と卒業生の動向をお知らせする会報“シャロンの花”の発行と、部活や教育活動で母校発展のために活躍する生徒や、それを指導する先生方を後押しする母校教育活動への金銭的支援活動です。県下でも注目を浴びている母校の教育活動への支援に、更なるご後援をお願いいたします。

**創立100周年記念70周年記念事業基金**

創立70周年(2011年)まであと3年。更なるご後援をお願いいたします。

お支払いはお手数ながら、同封の郵便振替用紙にて1口2千円、何口でも結構ですので、ご送金下さいますようお願い申し上げます。

郵便振替口座 00160-8-148932 千葉東高等学校同窓会

**編集後記**

第12号をお届けいたします。

人生80年時代を迎え、サラリーマンは定年後20年をどう生きるのかが大きな課題ですね。

今号では、サラリーマン終了後プロの演歌歌手にデビューした吉橋さんの特集しました。健康と資質に恵まれた方の一つの生き方として大変興味深い生き方だと思います。応援よろしくをお願いいたします。

メタボリックシンドロームが話題になる同期会、クラス会でも“健康”は定番の話題です。

平素の小さな健康管理が第2、第3の豊かな人生を約束します。

母校は通信制が大宮に移転し普通課程のみの2学期制、単位制に変わりましたが、同窓会が、衛生看護科卒業者や通信制卒業者をも含めた会員組織であることに変わりはありません。

どうか、これからも「シャロンの花」をご愛読下さい。

(編集委員一同)

**JR京葉線 蘇我駅東口前****アパートマンション分譲住宅**

おかげさまで創業43年



不動産の売買・仲介  
賃貸借・総合管理の  
ことならおまかせ!

堤 清司 (昭和53年卒)

**三幸商事株式会社**

サンコーサンコー  
TEL.043-263-3535  
FAX.043(265)4488

〒260-0842  
千葉市中央区南町2-17-11  
http://www.sanko-shouji.co.jp

**ギャレックスチバ株式会社**

ー営業品目ー

学校体育衣料/スポーツ用品/カバン・校章  
名札・腕章・旗/トロフィー/インテリア用品

オリジナルTシャツ  
トレーナー  
イベントジャンパー

プリント加工

代表取締役

〒260-0834 千葉市中央区今井3-1-9

澤田 繁信

TEL.043 (261) 4528

(昭和46年卒)

FAX.043 (265) 5446

E-mail:jericle@olive.ocn.ne.jp

**アパマンショップ**

NETWORK

賃貸 売買  
土地活用



(財)日本賃貸管理協会  
千葉市宅建協同組合員  
千葉県知事免許(9)第5206号

ISO 9001 認証取得!

アパート・マンションお部屋探しは…

**株式会社 高品ハウジング**

代表取締役 山中 操 (昭和44年卒)

|        |                 |                                 |
|--------|-----------------|---------------------------------|
| 本店     | 千葉市若葉区高品町1585-1 | TEL043-232-7342 FAX043-232-0696 |
| 都賀駅前支店 | 千葉市若葉区西都賀3-19-4 | TEL043-290-1008 FAX043-287-0400 |
| 都賀支店   | 千葉市若葉区都賀3-4-1   | TEL043-226-4521 FAX043-226-4520 |
| 四街道支店  | 四街道市大日460-1     | TEL043-304-2820 FAX043-304-2821 |
| 千葉駅前支店 | 千葉市中央区弁天1-2-1   | TEL043-206-1777 FAX043-206-1778 |